

**ガーナにおける
「児童労働フリーゾーン」
制度構築：**

**JICA事業の進捗報告と
今後の展望**

2021年7月30日

白木朋子

認定NPO法人ACE

事務局長/共同創業者

(副業務主任者/児童労働
政策分析/CLFZ分析)

カカオ産業と世界における児童労働の現状

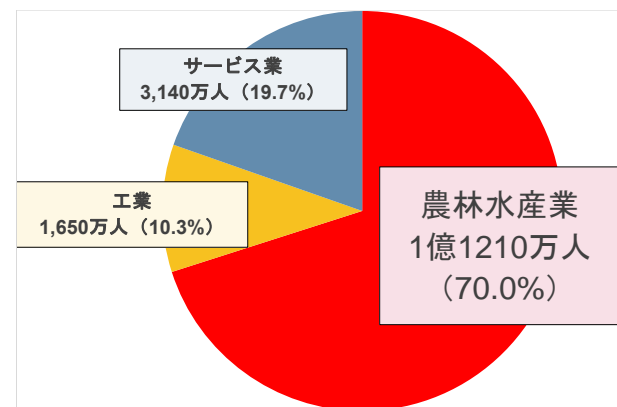
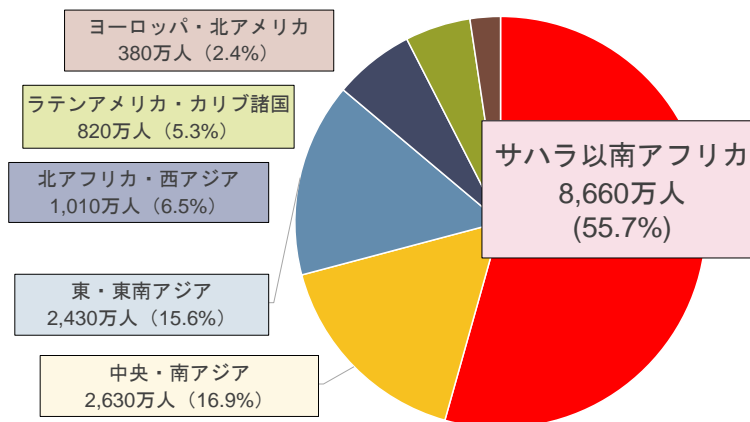
～世界の児童労働は1億6000万人。過去20年で初めて増加（2021年6月発表）

サブサハラ以南アフリカが増加傾向

世界のカカオ生産の約7割を占める西アフリカ。
児童労働者の数は、コートジボワールで79万人、
ガーナで77万人との調査報告（2020年、シカゴ大学NORC）

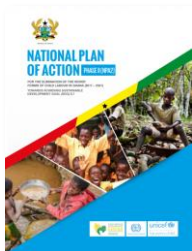


児童労働の地域分布と産業分布



データ：ILO/UNICEF、2021年

ガーナ政府による「児童労働フリーゾーン」制度ができるまで



児童労働撤廃に向けた国家計画フェーズ2 (NPA2)

2018年7月
CLCCG会合*

(コートジボワール、アビジャン)
ガーナ雇用労働省 (MELR) とACEが、CLFZ制度構築において共同することに合意



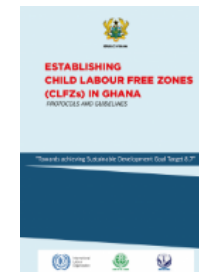
中央が雇用労働大臣

*CLCCG : Child Labour in Cacao Coordinating Group

2019年7月
郡レベルコンサルテーション



2020年3月
CLFZガイドラインの施行



2018

2018年11月
国内ステークホルダー
会合 (クマシ)



2019

2019年11月
専門家作業部会
会議



2020

2020年1月
全国会議
(アクラ)



2020年3月
普及ワークショップ
(アクラ)



(JICAが支援)

※上記プロセスをACEとデロイトトーマツコンサルティング (日本) が技術的・財政的支援を提供。ガーナ雇用労働省 (MELR) 児童労働ユニット、国際労働機関 (ILO)、労働組合、NGOなどの専門家によって構成される作業部会に参加し、ACEのガーナのカカオ生産コミュニティでのプロジェクトの経験 (2009年～) をCLFZのコンセプトやガイドラインに反映させた。

JICAによる児童労働フリーゾーン(CLFZ)普及支援:

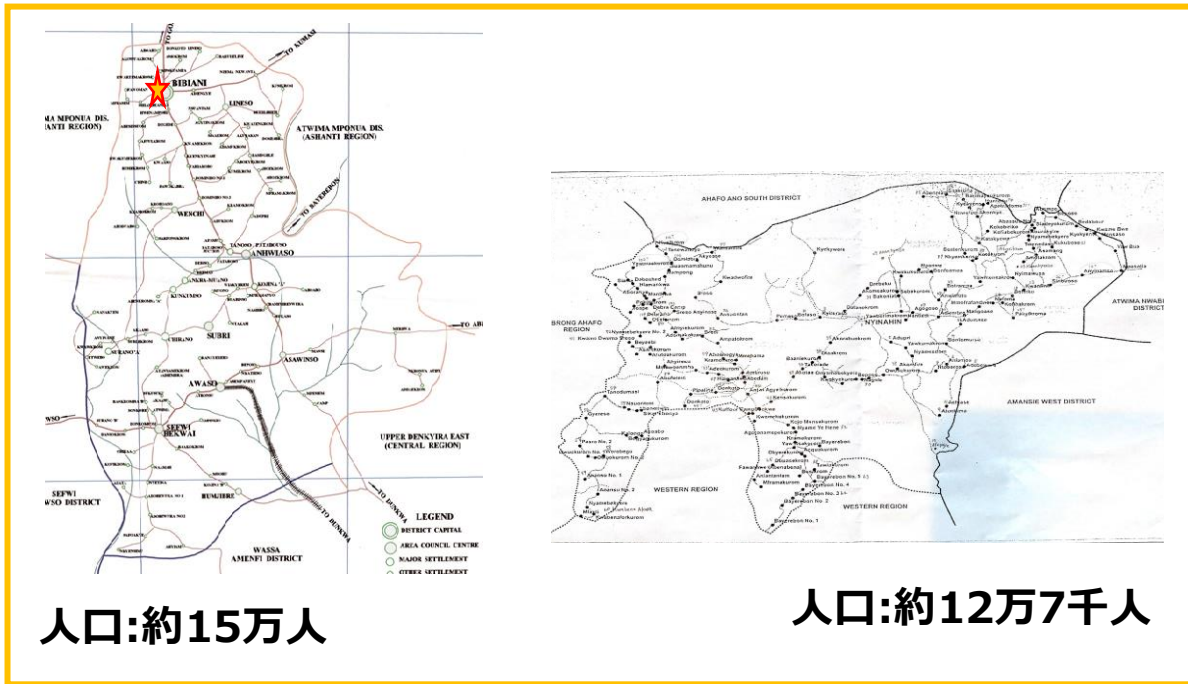
ガーナ共和国 カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査

概要	
目的	<ul style="list-style-type: none">CLFZガイドラインの実施、児童労働撤廃の取組を後押しするガーナにおける児童労働撤廃に向けた、将来的な連携可能性を特定する (SDG8.7達成を見据えて)
実施期間	2020年10月～2022年3月
カウンターパート機関	雇用・労働関係省 (労働局、児童労働ユニット)
連携機関	児童労働に関する国家委員会 (NSCCL)、教育省、ジェンダー・子ども・社会保障省、地方自治・農村開発省など
主な活動	<ul style="list-style-type: none">CLFZガイドラインに基づいたパイロット活動の実施支援 (CLFZガイドラインの有効性の検証、必要な仕組みの構築支援)文献調査、関係者ヒアリング等による情報収集 (国際機関、ドナー、カカオ業界組織、企業、NGO等)プラットフォーム関係者との情報共有、意見交換
受注者	認定NPO法人ACE、アイ・シー・ネット株式会社

パイロット活動の対象エリア(2郡/2州)

①ビビアニ・アンフィアソ・ベクワイ郡
(ウェスタンノース州)
Bibiani-Anhwiaso-Bekwai District
(Western North Region)

②アチュマ・ンプニユア郡
(アシャンティ州)
Atwima Mpunua District(Ashanti Region)



郡は最小の行政単位。
ガーナ全体では、256の郡が存在

「児童労働フリーゾーン(CLFZ)構築のためのガイドライン」

Protocols and Guidelines for the Establishment of Child Labour Free Zones (CLFZs) in Ghana



- 2020年3月施行
- 児童労働の予防と解決が進む地域を「児童労働フリー・ゾーン (CLFZ)」として定義
- 地域コミュニティや自治体レベルにおける必要条件を明記
- アセスメントチームによる評価を通じて、一定のエリア (ゾーン) をCLFZとして認定する仕組み
- ガーナ国内における児童労働に関する活動は、このガイドラインに沿って進められることが推奨されている

<ガイドラインの構成>

- 背景
- 児童労働フリーゾーン (CLFZ) のフレームワーク (定義、条件等)
- 児童労働フリーゾーン (CLFZ) の評価・認定とその手順
- 実施体制(政府機関等、関係者の役割)
- 付録:児童労働フリーゾーン (CLFZ) 評価のための指標など

「児童労働フリー・ゾーン(CLFZ)」とは？ (ガイドライン5ページ)

- 子どもを危険な労働から守り、子どもの権利や福祉を保障するための**総合的で一貫性のある取り組みが、継続して実行されている地域。**
- **各種システムが機能することで、児童労働がない状態を維持することができる地域。**

定義

- i. 児童労働が人権侵害であり、子どもの健康や教育、発達に影響を及ぼすものであることが、すべての住民に理解されている。
- ii. 児童労働の是正や予防に関する法律や行政システムが存在し、機能している
- iii. 法的に就労が認められている子ども（15-17歳）が、危険有害労働から守られている
- iv. 児童労働の法律違反者が既存の法律によって必要な制裁を受けている
- v. 子どもの権利が尊重され、守られている
- vi. 子どもの福祉や発達のために必要な資源が投入されている（教育、職業訓練、保健、娯楽を含む）
- vii. 上記の状態がそろうことにより、児童労働がない状態が維持されている



児童労働を予防、解決するために機能させるべきシステムとは？



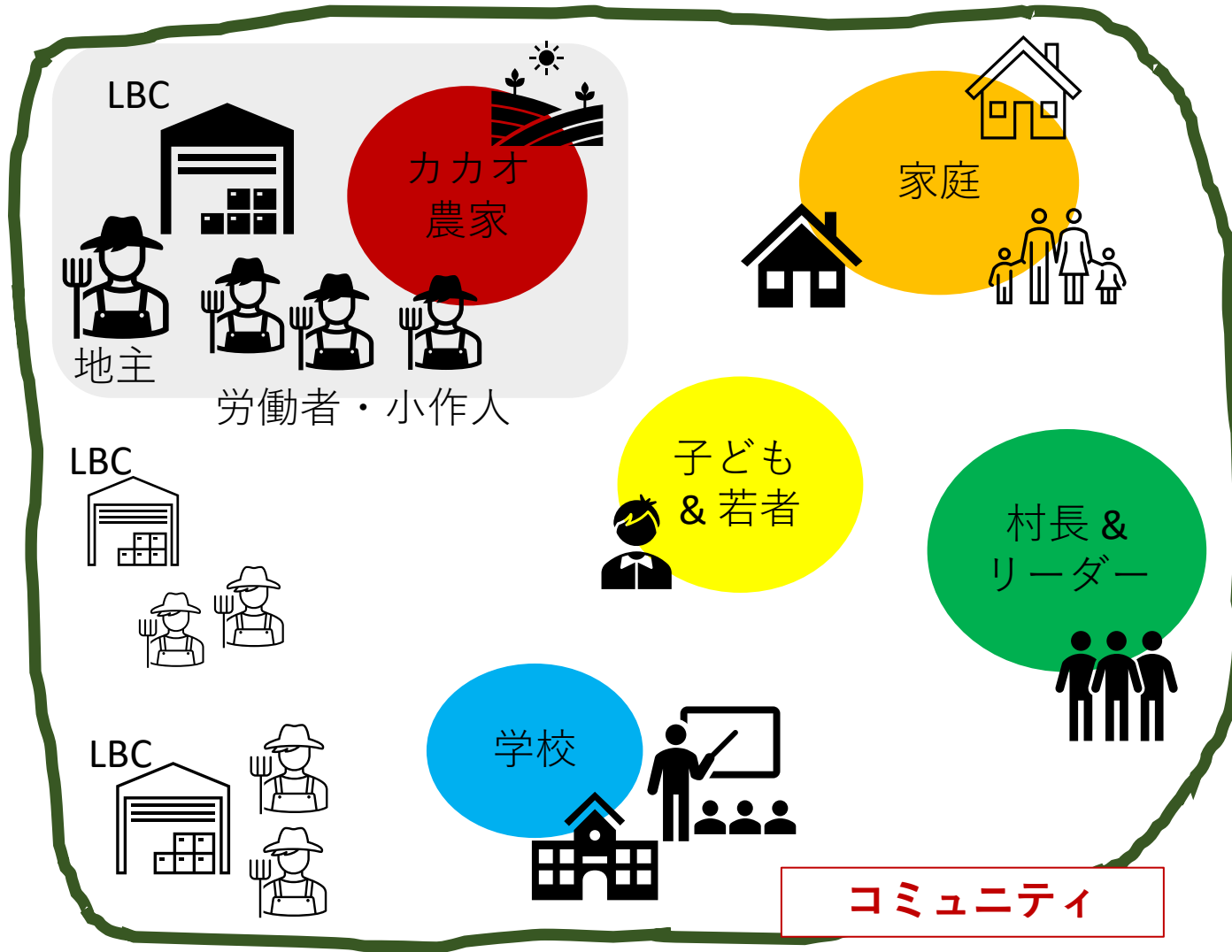
コミュニティー

- 世帯登録システム
- 子どもの保護に関する村の条例
- CCPCによる児童労働のモニタリングシステム（15-17歳の危険有害労働含む）
- 子どもの保護に関する村の活動計画
- 学校の就学・出席状況の管理システム
- 学校での学習環境の整備

自治体・郡

- 脆弱な家庭に対する経済支援・福祉制度の実施
- 児童労働撤廃に向けた自治体レベルの政策、年度計画や予算の執行
- 児童労働、子ども保護に関する条例
- 郡議会および郡の関係機関の実施体制

児童労働撤廃をめざしたエリアベースアプローチ ～地域全体で、関係するあらゆるステークホルダーを巻き込む



郡議会
行政機関

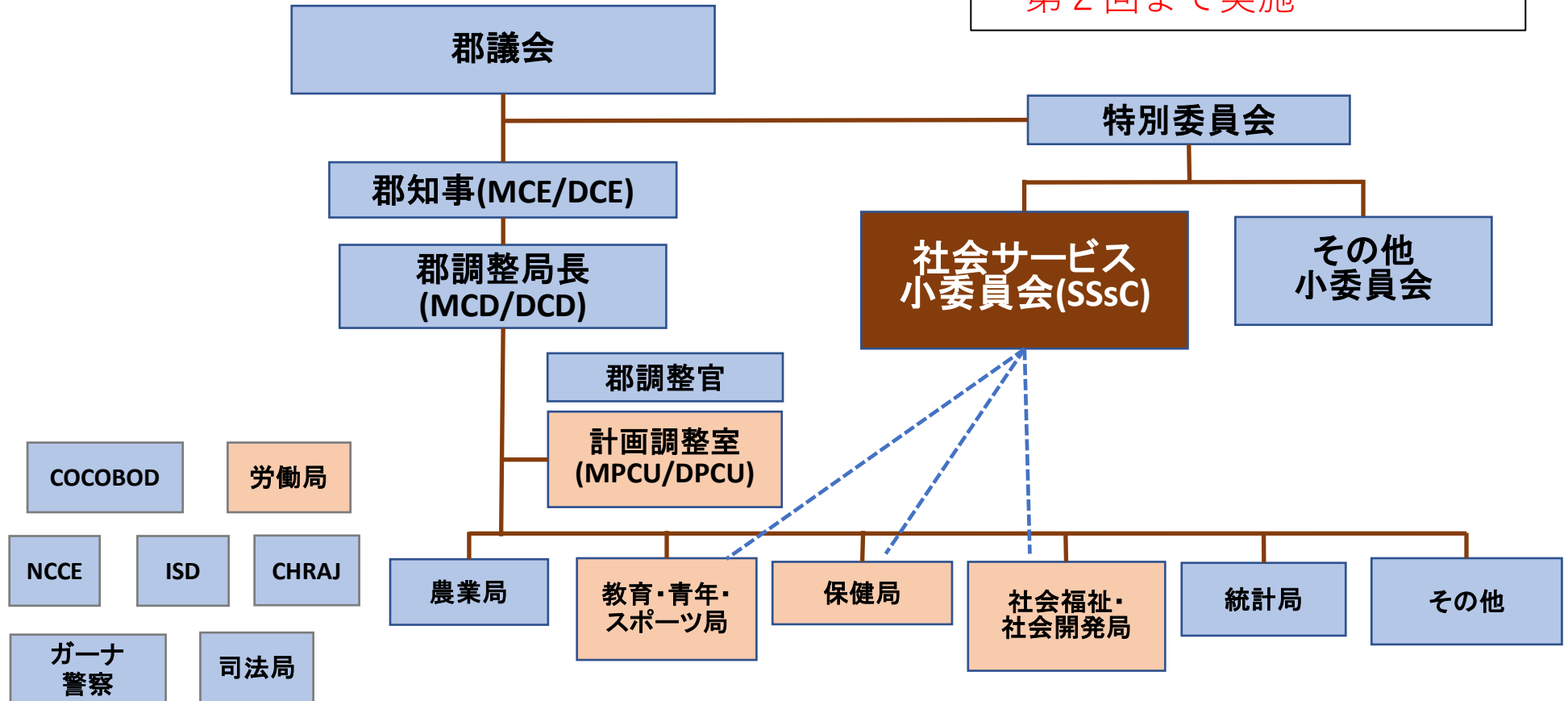
- ・ココボード/農業
- ・社会福祉・開発
- ・保健
- ・教育
- ・警察/裁判所

外部支援パートナー

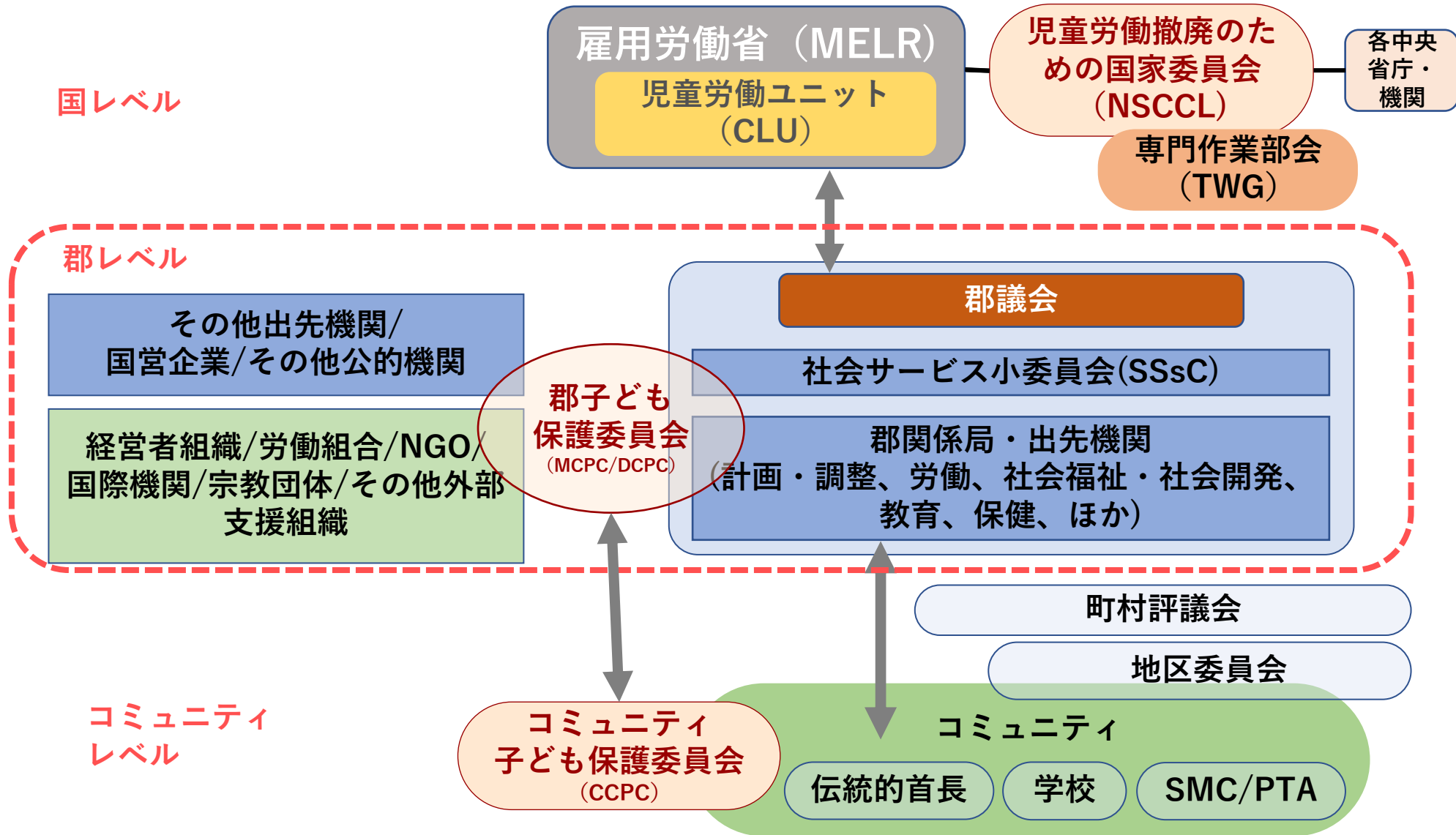
(ドナー・国際機関、企業、NGO、etc)

郡行政機関の能力強化と連携機能の強化（1）

能力強化セミナー（全4回）
第2回まで実施



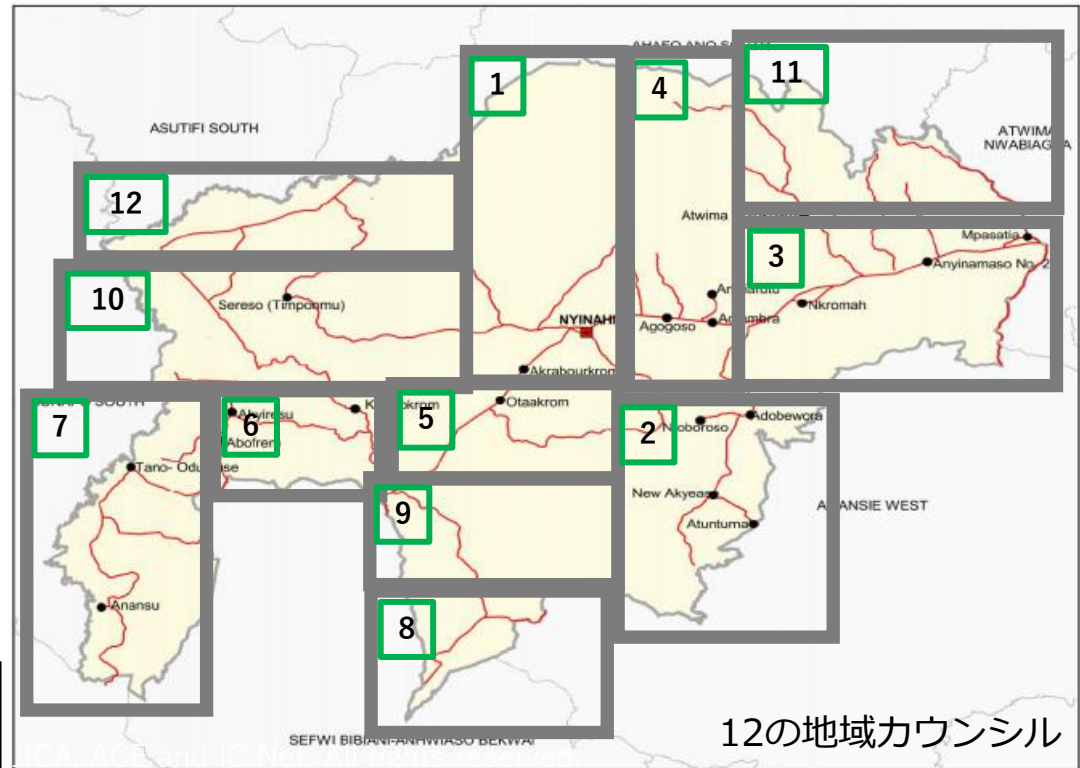
郡行政機関の能力強化と連携機能の強化（2）



コミュニティへのCLFZ普及と支援



- **コミュニティ調査（全域対象）**
- **啓発セミナー（全域対象×各1回）**
- **能力強化セミナー（各郡10村×各3回）**



アチュマ・ンプニユア郡：
12の地域カウンスルに、257村
(うちメインの村は110)

コミュニティ調査

- ・ 小学校のあるコミュニティ対象（小集落は除く）
- ・ CLFZ指標（A～E）を元にした質問票調査

- ・ 郡①：110村（257）
- ・ 郡②：86村（201）

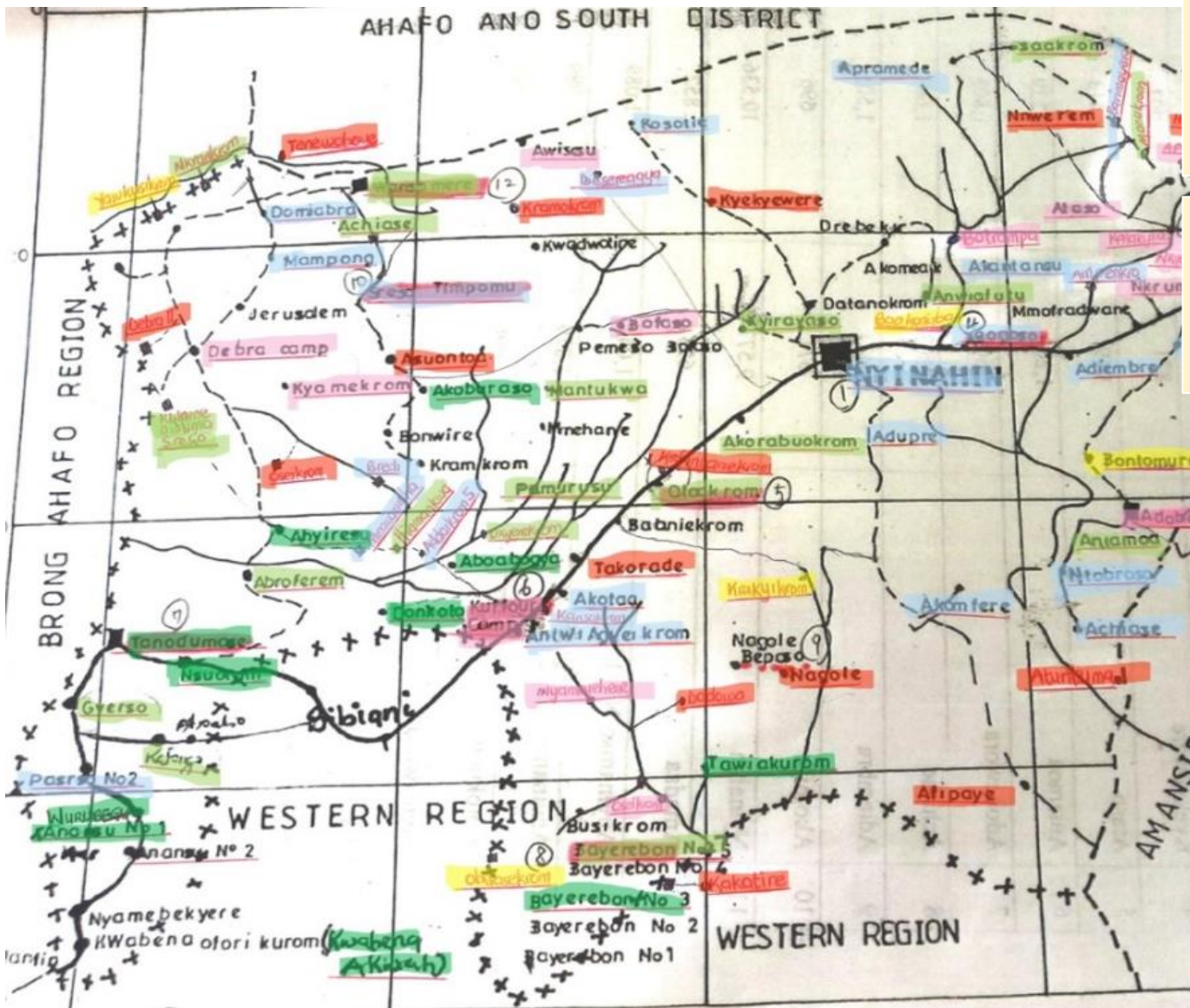
A	緑	90%以上
B	緑	80 - 89%
C	薄緑	70 - 79%
D1	青	69%以下
D2	黄	(51 - 69%)
E	薄赤	(40 - 50%)
F	赤	(0 - 39%)

<質問項目>

- ・ 啓発活動
- ・ 村の規則
- ・ 住民登録
- ・ CCPC
- ・ 村の活動計画
- ・ レファラルシステム
- ・ 救済システム
- ・ SMC/PTA
- ・ 学校環境
- ・ 教員の配置（小・中）

No.	Area Council	No.	Epi-center Community	Population		No. of Households	No. of Children under 18		Q1: Awareness Raising Activity	Q2: Community Regulations	Q3: Community Register	Q4: CCPC	Q5: CCPC Training	Q6: Community Action Plan	Q7: Referral System	Q8: Remediation Package	Q9: SMC & PTA	Q10: School Condition	Q11: Class Teacher(p)	Q21: Class Teacher(I)	Total Point	Grade	
				Female	Male		Girls	Boys															
1	Nyinahin	1	Nyinahin	8,241	7,000	5,143	5,116	4,345	2	1	0	0	0	0	2	2	2	2	0	2	1	14	D1
2	Nyinahin	2	Adupri	920	752	350	540	353	2	0	0	2	2	2	0	2	2	1	0	1	1	14	D1
3	Nyinahin	3	Kyerayaaso	923	755	545	480	722	0	1	0	2	2	1	2	2	1	2	2	1	18	C	
4	Nyinahin	4	Bofaaso	293	319	176	184	168	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	1	12	E	
5	Adobewura	1	Adobewura	3,491	2,856	2,015	2,094	1,714	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	1	12	E	
6	Adobewura	2	Anhiamoa	3,042	2,295	2,000	1,714	1,441	2	1	0	2	0	0	2	2	2	1	2	1	17	C	
7	Adobewura	3	Bontomuruso	2626	2237	1423	1575	1343	2	0	0	0	0	1	2	2	1	1	2	2	15	D2	
8	Adobewura	4	Ntobroso	1,650	1,450	984	575	775	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	2	14	D1	
9	Adobewura	5	Atuntuma	1,500	2,000	1,044	873	947	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	6	F	
10	Adobewura	6	Afepaye	1,348	899	762	589	692	2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	6	F	
11	Adobewura	7	Atwima Achiase	4,500	3,500	258	2,500	2,000	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	2	13	D1	
12	Anyinamso	1	Anyinamso No.2	3,374	2,762	2,005	2,125	1,740	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	2	2	16	C	
13	Anyinamso	2	Amadaa	864	1,074	517	518	608	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	16	C	
14	Anyinamso	3	Ampenkro	623	508	380	368	301	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	13	D1	
15	Anyinamso	4	Anyinamso No.1	1,500	1,200	950	500	700	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	0	7	F		
16	Anyinamso	5	Abasua No.2	319	261	210	200	148	2	0	0	0	0	1	2	2	2	1	0	1	13	D2	
17	Anyinamso	6	Asamang	997	817	590	628	514	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	1	8	F	
18	Anyinamso	7	Betinko	1,856	1,460	1,008	1,145	977	2	0	0	1	2	1	2	2	2	2	2	2	20	B	
19	Anyinamso	8	Gogoikrom	500	321	274	250	200	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	1	10	E	
20	Anyinamso	9	Kantankyiren	400	300	260	190	210	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4	F	
21	Anyinamso	10	Kukubuso	1,152	943	660	713	585	2	0	0	0	0	2	2	1	1	0	1	11	E		
22	Anyinamso	11	Kwanfinfi	540	460	314	300	270	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	2	13	D1		
23	Anyinamso	12	Kwankyeabo	500	350	283	300	200	2	1	2	2	2	1	2	2	1	0	0	0	17	C	
24	Anyinamso	13	Nkruma	1827	1437	1023	959	998	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	12	E		
25	Anyinamso	14	Pakyi	826	733	322	479	391	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	1	22	A	

各コミュニティの状況をマッピングした地図



コミュニティ毎に

- ・誰が（行政、企業、NGO等）
- ・どのような介入をしているのか
- ・CLFZ指標に基づいてどのレベルにあるのか

サービスや支援が届いていないコミュニティを特定
 →ニーズに応じて支援をマッチング

A	緑	90%以上	} 外部の介入が入っているエリア
B	緑	80-89%	
C	薄緑	70-79%	
D1	青	69%以下	
D2	黄	(51-69%)	
E	薄赤	(40-50%)	
F	赤	(0-39%)	

活動計画

	2021												22
活動	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
A) パイロット活動													
国、州レベルのセミナー	X	X											
コミュニティ、郡レベルの調査				X	X	X							
郡レベルの能力強化セミナー						X	X		X		As		X
コミュニティレベルの啓発と能力強化							X		X	X	As		X
郡、コミュニティのモニタリング						X	X	X	X	X	X	X	
B) アセスメントメカニズムの構築													
アセスメントツールの開発 (テスト、改善を含む)						X	X	X	X				
アセスメントチームの立ち上げと能力強化						X	X		X				
プレアセスメントとアセスメントの準備									X	X			
パイロット地域でのアセスメント実施											X		
アセスメントレポートの作成と結果の評価												X	
C) 情報の収集と交換													
ヒアリング & ディスカッション	—————→												
本調査の結果共有ワークショップ (アクラ)													X

Thank you for your attention!

お問い合わせは、choco@acejapan.orgまで。

